【授業科目】急性看護学実習Ⅰ　Advanced Practicum of Critical Care Nursing I

担　当　教　員	開講年次	選択必修	単位数	時間数	授業形態	オフィスアワー
吉田 和枝、奥田 美香	１年次 前　期	選　択	２	９０	実習	巻末 掲載

授業概要 （内容と進め方） 及び 課題に対する ﾌｨｰﾄﾞﾊﾞｯｸ方法	クリティカル看護専門看護師として、クリティカルな状態にある人とその家族への支援を行うにあたり、組織、看護管理者が期待する役割の理解を深める。クリティカルケア看護専門看護師が活用している技法とその技法を用いる根拠を理解し、役割に応じた使い分ける高度な臨床判断を学ぶ。 実習は実務家教員（吉田、奥田）が進める。 課題に対するフィードバック/日々の実習内容については、口頭での指導および提出された記録物についてコメントをつけて返却する。
授業の 位置づけ	本大学院のディプロマ・ポリシー②、③、④の達成に寄与している。
到達目標 （履修者が到達すべき目標）	①クリティカルな状況にある患者の身体的状態について専門的に判断し、必要なケア・処置が実践できる。 ②クリティカルケア領域における高度実践看護師としての自己の課題を見出す。
時間外学習に 必要な 内容・時間	＊詳細については、実習要項を参照のこと。 ※上記時間については、指定された学習課題に要する標準的な時間を記載してあります。日々の自学自習全体としては、各授業に応じた時間（２単位１５回科目の場合：予習+復習４時間／1回)（１単位１５回科目の場合：予習+復習 1時間／１回)（１単位８回科目の場合：予習+復習４時間／１回）を取るよう努めてください。詳しくは教員の指導に従ってください。
授業計画	実習時期、場所につきましては、決まり次第連絡します。 １．実習目標 １）クリティカルな状況にある患者の身体的状態について専門的に判断し、必要なケア・処置が実践できる ⑴ 患者の状態を専門的に判断する ⑵ 患者に必要なケア・処置を実践する ２）クリティカルケア領域における高度実践看護師としての自己の課題を見出す。 ２．実習の方法 （1）学生は、目標の達成に向けて主体的に取り組む。 （2）学生は、集中治療・看護を必要とする患者を受け持ち、患者の集中治療室入室から退室までの看護過程を展開して看護実践能力を高める。 ３．評価方法 実習目標の達成度（50%）カンファレンスの参加度（20%）実習記録（30%）によって総合的に評価する。60 点以上を合格とし単位を認定する。
評価方法 評価基準	実習目標の達成状況、実習記録、課題レポート、実習指導者からのコメントを含めて総合的に評価する。 ＊詳細については、実習要項参照のこと。

教科書	なし	参考書等	適宜指示